

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2011-19825

(P2011-19825A)

(43) 公開日 平成23年2月3日(2011.2.3)

(51) Int. Cl.	F 1	テーマコード (参考)
A 6 1 L 2/20 (2006.01)	A 6 1 L 2/20 J	4 C 0 5 8
A 6 1 L 2/24 (2006.01)	A 6 1 L 2/24	

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号	特願2009-169247 (P2009-169247)	(71) 出願人	503242877 株式会社タムラテコ 大阪府東大阪市長田東2-1-27
(22) 出願日	平成21年7月17日(2009.7.17)	(74) 代理人	100061745 弁理士 安田 敏雄
		(74) 代理人	100120341 弁理士 安田 幹雄
		(72) 発明者	田村 耕三 大阪府東大阪市長田東2-1-27 株式会社タムラテコ内
		(72) 発明者	福田 由之 大阪府東大阪市長田東2-1-27 株式会社タムラテコ内
		Fターム(参考)	4C058 AA12 BB07 DD01 DD03 DD14 EE26 JJ14

(54) 【発明の名称】 オゾン滅菌管理装置およびオゾン滅菌装置

(57) 【要約】

【課題】 オゾン滅菌装置を効率的に稼働させ滅菌処理能力を高めることができるオゾン滅菌管理装置およびオゾン滅菌装置を提供する。

【解決手段】 滅菌処理開始を検出する開始検出手段20と、滅菌処理の情報を記憶する記憶手段19と、オゾン濃度計15からオゾン濃度を取得するオゾン濃度取得手段20と、記憶手段の情報及びオゾン濃度を演算処理する演算手段20と、を有し、記憶手段は、滅菌処理の終了を判定する判定CT値、オゾン濃度を繰り返し取得するためのサンプリング間隔時間及び実測CT値を記憶し、演算手段は、開始検出手段が滅菌処理開始を検出した時実測CT値をリセットし、サンプリングごとに取得されるオゾン濃度と実際の間隔時間との積を実測CT値に加算して判定CT値と対比し、実測CT値が判定CT値以上となったときに滅菌処理終了の情報を出力するように構成されたオゾン滅菌管理装置3。

【選択図】 図3

